

山陽小野田市議会

平成26年12月議会 議会報告会

プログラム

- * 開会挨拶
- * 12月議会の報告
 - 総務文教常任委員会
 - 民生福祉常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 一般会計予算決算常任委員会
- * 質疑応答

総務文教常任委員会

議案第100号 山陽小野田市長選挙の
記号式投票に関する条例を廃止する条
例の制定について 他

計 議案5件、継続審査中の請願1件

市長選の記号式投票の廃止条例

- 概要
市長選挙における、記号式投票の長所及び短所を比較考慮した結果、山陽小野田市長選挙の記号式投票に関する条例を廃止するもの。
- 主な論点
 1. 開票事務の迅速性に差はない。
 2. 無効投票率でも、市長選は0.8～0.9%、知事選・県議選は1.5～1.8%である。
 3. 印刷経費は1万5千円位記号式が多い。
- 結果 否決(賛成少数)

人口定住促進対策(転入促進事業・若者交流事業)の現状調査

◎転入促進事業

●概要

平成23年10月に施行した転入促進条例に基づき、新たに住宅を取得した市外からの転入者に対し、住宅に係る固定資産税相当額を5年間、転入奨励金として交付するもの。



●調査結果

1. 平成26年度(11月現在)の新たな交付は32件である。
2. 転入者のほとんどが年少(15歳未満)、生産年齢層(65歳未満)である。
3. 「転入奨励金制度」の新たなPR活動など改善して事業を進めている。
4. 転出者の詳細などデータ分析は未着手である。

◎若者交流推進事業

●概要

「出会い」や「結婚」を希望する独身男女を応援するため、市内のロケーション等を活用しながら、イベントを開催し、「出会い」のきっかけづくりを提供するもの。



●調査結果

1. 平成26年度(11月現在)5回開催し、参加者は101人(男性60、女性41)である。
2. 推進委員会(会長は市長)と事務局の役割が不明確である。
3. 決算委員会での評価が反映されていない。

●結論

定住促進につながる施策について、委員会としてその事業評価を行い、改善点など提案していく。転出を抑える施策について、調査、協議を深めていく。

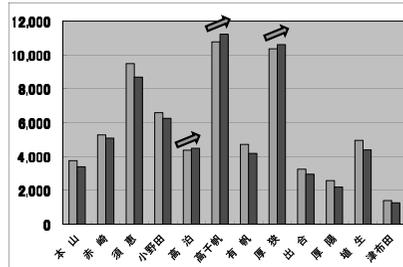
山陽小野田市の人口推移

	H17年3月	H26年4月
市人口	68,170	64,758
市世帯数	27,215	28,459

0歳～14歳	9,018	8,360
15歳～64歳	41,719	37,221
65歳以上	16,355	19,177

本 山	3,754	3,400
赤 崎	5,281	5,089
須 恵	9,487	8,690
小野田	6,590	6,259
高 泊	4,373	4,485
高千帆	10,770	11,224
有 帆	4,716	4,183
厚 狭	10,366	10,608
出 合	3,252	2,954
厚 陽	2,574	2,200
壇 生	4,953	4,396
津布田	1,398	1,270

	自然増減		社会増減	
	出生数	死亡数	転入数	転出数
H.23.10 ～24.9	477	774	2,069	2,147
H.24.10 ～25.9	476	850	2,189	2,402
H.25.10 ～26.9	479	752	2,152	2,275



転入奨励金交付実績

支給開始年度	新築	中古	交付額(円)
H24年度	2	0	125,000
H25年度	21	5	1,411,800
H26年度	26	6	1,767,300
合計	49	11	3,304,100

転入者の内訳

	年少	生産年齢	老年	計
H24年度	8	21	4	33
H25年度	71	110	5	186
H26年度	40	75	1	116
合計	119	206	10	335

平成26年度 若者交流推進事業実施状況

	参加者(人)	参加費(円)	場 所	
				男性
第5回 4/27(日)	11	11	3,000	ガラス未来館・きらら交流館
第6回 6/7(土)	17	12	3,000	ソルボニエンテ・竜王山
第7回 7/6(日)	12	9	2,000	江汐公園
第8回 8/16(土)	中 止			山陽オートレース場
第9回 9/28(日)	13	4	3,000	湯本観光ホテル西京
第10回 10/25(土)	7	5	2,000	小野田セメント山手倶楽部
参加人数	60	41	101人	

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔に1分以内くらいにまとめてください。

民生福祉常任委員会

議案第91号 山陽小野田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について 他

計 議案15件

完成した新環境衛生センター(ゴミ処理場)



● 主な論点

* 他市との均衡を図るための有料化では、市民は納得しないのではないか。

→ごみ持ち込みは指定ごみ袋が必要で、トラブルが多かった。100kgまで無料ということで他市からの持ち込みがあった。

→他市からの持ち込みは明確には分からない

* 有料化により、どの程度の市民に影響が出るのか。

→持ち込む市民の約50%が20~100kg以下

* 受益者負担の観点から賛成の討論あり。

● 結果 全員賛成で可決

廃棄物処理等に関する条例改正

● 概要(4月より)

持込ごみ	改正後	改正前
20kg以下	無料	無 料
20kg~40kg	210円	
40kg~60kg	320円	
60kg~80kg	430円	
80kg~100kg	540円	1,080円
100kg~150kg	810円	

* 改正前は指定ごみ袋に入れて持ち込み
→今後は任意(透明、半透明)の袋でOK

人口定住に向けての子育て支援策

* 市議会の政策討論会で提起された
民生福祉常任委員会の政策研究テーマ

1. 子どもの医療費無料化
2. 保育所・幼稚園の保育料軽減
3. 子どもに関する市役所総合窓口の設置
4. 市民病院の周産期医療の充実
5. 学童保育・児童館の充実 など

● 更なる調査・研究を進め、政策提言へ

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一问一答で行います。
- * 質問内容は簡潔に1分以内くらいにまとめてください。

産業建設常任委員会

議案第82号 平成26年度山陽小野田市
駐車場事業特別会計補正予算(第1回)に
ついて 他 計 議案11件

都市公園の指定管理者 (平成27年4月1日から3年間)



- 指定管理者制度について
公の施設について民間事業者等が有するノウハウを活用することにより住民サービスの向上を図る。
平成15年9月地方自治法一部改正により導入
- 審査のポイント
 1. 公共サービスの水準が確保されているか
 2. 事業計画に対する審査が適切になされたか
 3. 労働法令の遵守や雇用・労働条件への配慮
 4. 情報管理体制や各種情報発信方法

● 主な論点

小野田南部地区

- ※竜王山公園の山野草等の保護について
→ 関係者たちと連携して保護・整備を進めたい

小野田北部地区

- ※単独指定が公募になった理由について
→ 単独指定は二回までと内部で決めている

山陽地区

- ※「緑の基本計画」との今後の関連について
→ 現段階では現況の公園を管理していく

● 結果 可決(全員賛成)

企業誘致(所管事務調査)

● 待望の企業進出(小野田・楠企業団地)

- ・(有)大森配送センター
- ・A区画の半分(約5700m²)
- ・H27年1月より操業予定
- ・当初10名で事業開始
- ・土地取得費用の8割補助
- ・残り半区画の購入や新規雇用の拡大を検討



残り12区画(13.6ha)

● これからの新規誘致にむけて

- ① 展示会でのPR活動やアンケート調査の実施
- ② 県や関係機関との連携
- ③ 情報提供報奨制度の周知
- ④ 市内企業の取引先等の紹介依頼

● 内発展開(市内企業の増設等)

- ① 地道な訪問活動による情報収集
- ② 山口東京理科大学や商工会議所
金融機関等との連携



● 本市の魅力(セールスポイント)



質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

一般会計予算決算常任委員会

議案第75号 山陽小野田市一般会計
補正予算(第4回)について 他
計 議案3件

平成26年度一般会計補正予算(第4回)

5,206万2,000円追加
予算総額289億4,055万円

- 主な内容
人事異動及び人事院勧告等に伴う人件費の調整
- 明らかになったこと
現在の職員数は、正規職員434人・再任用職員7人・任期付職員52人・特別職3人・臨時職員189人となる。
- 結果 全員賛成で可決

平成26年度一般会計補正予算(第5回)

1億9,161万1,000円追加
予算総額291億3,216万1,000円

- 主な内容
 - 防災ラジオ配布事業
 - 厚狭地区複合施設整備事業
 - 剰余金処分による基金積立
 - 道路整備事業
 - 現代ガラス展実行委員会負担金
 - 中央福祉センター指定管理委託料 ほか

- 明らかになったこと
 - 防災ラジオ200台を購入。合計1,006台
平成27年度から31年度まで2,184台を予定
 - 厚狭地区複合施設整備事業は、職人不足により、工期が1カ月延長
 - 基金積立残高
 - ・ 財政調整基金 28億2,560万円(+2億9,580万3千円)
 - ・ 減債基金 6億2,300万円(+2,808万8千円)
 - ・ 退職手当基金 5億2,700万円(+7,000万円)

ありがとうございました

アンケートにご協力ください

